

大方高校生が入野小学校で 防災出前授業を実施

大方高校1年生が10月5日(月)、入野小学校へ出向き、同校6年生に防災に関する授業を行いました。授業を行ったのは地域学を専攻する1年生13名で、高校生が授業で考え作成した15問の防災クイズを出題し、その後ワークシヨップを実施しました。ワークシヨップには、京都大学が発案した「未来へのメモリアル」を取り入れ、災害が起きた場合を想定し、未来に残したい思い出やエピソードなどをともに考えました。



未来に残したいものを考える子どもら

るために
は自分の
命を守る
ことも大
切だとい
うことを
感じても
らえたら
と話しま
した。

ゲートボール西南クラブ 県民フェスティバルで準優勝

県民スポーツフェスティバル・県民スポーツ月間関連大会として開催されたゲートボールの大会が9月27日(日)、春野総合運動公園で開催され、黒潮町を拠点に活動する「西南クラブ」が準優勝しました。



左から大西正胤さん、田中雪子さん、森本禮子さん、寺尾良一さん、西地明彦さん

同クラブは、黒潮町と四万十市に在住するメンバーで構成されており、毎週土日に練習を、月に2〜3回ほど試合を行い力をつけてきたとのこと。

試合当日は、幡多地域から3チーム、全9チームが出場し、同クラブが準優勝の成績を収めました。同クラブの西地明彦さんは、「この競技はチームワークが大事。みんなの連携で勝てたと思う。競技人口が少なくなってきたが、少しでも多くの人に楽しんでもらえるようになれば」と話しました。

大方高校女子サッカー部指導者 町内保育所などでスポーツ普及活動

大方高校サッカー部の監督として今年4月から指導をしている申政勲さんが地域貢献活動の一環としてスポーツを広めようと町内で活動を行っています。

10月8日(木)

には、くじら保育所を訪れ、ぞう組16名の子どもを対象にサッカー教室を行いました。この日は雨のため、室内で開催された同教室。子どもたちは、新聞やビニール袋、ビニールテープなどを使用し、手作りのサッカーボールを作り、申さんの指導のもと、ボールを投げたり、ゲームなどを行いました。



手作りでボールを作成



サッカーを楽しむ子どもら

のぼり旗寄贈

9月9日(水)、公益社団法人幡多法人会が交通安全協会中村支部佐賀分会へのぼり旗200枚とポール100本を寄贈しました。

交通安全の啓発活動として使用しているのぼり旗やポールは、風などで壊れるため、頻繁に交換をしています。

寄贈を受けた佐賀分会の岸本四郎分会長は、幡多法人会への謝辞を述べ、喜びを表しました。



寄贈の様子



寄贈を受けたのぼり旗